

5 指導記録・個別の指導計画の実態

菅井裕行

5-1 指導記録の様式について

表5-1は、自立活動の指導記録の様式の実態を示したものである。有効回答数743件のうち、共通の形式を採用している学校は、全体で471校あり、知的障害養護学校を除くすべての学校種において7割以上が共通の記録形式を採用している。知的障害養護学校では53.2%が共通の記録様式を採用しているが、23.5%の学校が共通の様式はないが、個人が様式をつくって記録している。記録についての様式を定めることなく、記録をするかどうかそのものも個人にまかされている学校は、盲学校で10校（17.2%）聾学校で9校（11.4%）知的障害養護学校で70校（18.5%）肢体不自由養護学校で19校（12.8%）病弱養護学校で8校（10%）であった。

5-2 個別の指導計画について

1. 作成範囲

知的障害養護学校と肢体不自由養護学校では、それぞれ379校中248校（65.4%）、150校中84校（56%）と半数以上において全ての指導領域について個別の指導計画を作成していた。盲学校、聾学校、病弱養護学校では、自立活動と重複障害者の指導について個別の指導計画を作成している割合が高く、盲学校は61校中36校（59%）、聾学校は80校中53校（66.3%）、病弱養護学校は79校中43校（54.4%）で、いずれも半数以上である。調査当時、「現在作成していないが、検討中」であったところが、全体で32校あり、特に知的障害養護学校が14校と多くあった。（表5-2参照）

2. 様式

学部ごとに統一しているか、もしくは学校全体で統一しているかに大きく分かれた結果が示されている。全体では学年ごとに統一しているのが、有効回答数742校中5校（0.7%）、学部ごとに統一しているのが277校（37.3%）、学校全体で統一しているのが407校（54.9%）、各教師が様式をつくっているのが、25校（3.4%）その他28校（3.8%）であった。学校種間で比較してみると、盲学校・聾学校では学部ごと

に統一している傾向が強く、知的障害養護学校、肢体不自由養護学校、病弱養護学校では学校全体で統一している傾向が強い。特に肢体不自由養護学校では、学部ごとに統一しているのが26.7%であるのに対して、学校全体で統一しているのが、69.3%で、7割近くが学校全体で統一した個別の指導計画の様式を採用している。（表5-3参照）

3. 作成の中心人物

個別の指導計画について、これを自立活動専任教員がほとんど一人で計画しているのは、全体で721件中24件（3.3%）、学級担任がほとんどひとりで計画しているのは、368件（51%）、学級担任と自立活動担当者が分担・協力して立案しているのが329件（45.6%）であった。指導計画の作成については学級担任が主要な役目を果たしていることが伺われる。知的障害養護学校においては、学級担任と自立活動担当者が分担・協力して立案している件数が27.7%と他の校種が半数以上の割合に比較して少ない。一方、学級担任がほとんど一人で計画をたてているのは、知的障害養護学校で69.8%と他の校種がいずれも半数以下であるのに比して最も高い割合を示している。（表5-4参照）

4. 専門家からの意見の取り入れ

表5-5は、個別の指導計画作成にあたって、担任以外の人からの意見を取り入れているかどうかについての実態を示している。全体を見ると保護者からの意見を参考にしている場合が738件中655件（88.8%）と最も多い。ついで前担任教師が590件（79.9%）、さらに医師・看護師が396件（53.7%）、次は専門的な知識や技能を有する教師が371件（50.3%）であった。他の専門職としてはPTが236件（32%）、OTが172件（23.3%）、言語聴覚士が100件（13.6%）などであった。病弱養護学校では医師・看護師からの意見の取り入れが64件（83.1%）あり、突出しているが、これは当該児童生徒の障害状況からくる当然の帰結であろう。同様に肢体不自由養護学校でも医師・看護師からの意見の取り入れが112件（74.7%）と多く、さらにPT、OTからの意見の取り入れがそれぞれ110

件（73.3%）、91件（60.7%）と高い値を示した。また病弱養護学校では心理学の専門家からの意見の取り入れが15.6%と、それ以外の校種と比較して高い値を示しており、これは昨今の病弱養護学校在籍者のうち心理的な問題を抱えているものが少なくないことの現れであろうと思われる。

5. 保護者への説明・開示

表5-6は、個別の指導計画を保護者に対して開示しているかどうかに関する実態である。全有効回答数736件のうち、最も多いのは「見せていない」で212件（28.8%）。次に「保護者の希望があれば見せている」が161件（21.9%）、ついで「個別の指導計画を見せて、説明し了承をもらっている」が114件（15.5%）、さらにその他が108件であった。「個別の指導計画を見せ、説明している」は82件で11.1%。「個別の指導計画を書面で手渡し、説明し了承をもらっている」は59件で8%であった。

学校種間で比較してみると、聾学校と病弱養護学校がそれぞれ42.9%、40.8%と4割近い値で「見せていない」という状況にあり、他校種の2割台と比較すると高い値を示している。「個別の指導計画を書面で手渡し、説明し了承をもらっている」のは、割合としては11%台であるが、盲学校と知的障害養護学校が多かった。全体的にみて学校側からすすんで開

示しているのはまだ3割に満たない状況であることがわかった。この状況は個別の指導計画が今後定着するにつれて変化していくものと思われる。

6. 利用機会

表5-7は、個別の指導計画がどのような形で利用されているかについての実態を示している。全体の様子を見ると、全有効回答数737件のうち、最も多いのは「日々の授業づくり」での利用で593件（80.5%）。ついで「学級・学部の会」での利用が547件、74.2%。さらに「保護者との懇談の場」での利用が495件で67.2%であった。ほかに「病院や施設等との関係者との会議」での利用が126件（17.1%）、「寄宿舎職員との会議」での利用が79件（10.7%）であった。いずれの学校においても「日々の授業づくり」での利用が85%に満たない状況にあり、15%以上が授業と関係しないまま計画だけが立案されていることがわかった。これはまだ個別の指導計画の立案の趣旨が十分に理解されていないことを意味していると思われる。

学校種別で見ると「病院や施設等との関係者との会議」での利用が、病弱養護学校で50%、肢体不自由養護学校で24.7%と、よく利用されている。「学級・学部の会」での利用や「日々の授業づくり」での利用、「保護者との懇談の場」での利用については、学校間で大きな差はなかった。

表5-1 自立活動の指導記録の様式

	件数	共通の自立活動の指導記録の様式がある	共通の自立活動の様式は異なる	個人に合わせた指導記録がある	その他	無答	有効回答数
合計	753	471 63.4	148 19.9	116 15.6	54 7.3	10 1.3	743 98.7
盲学校	61	42 72.4	9 15.5	10 17.2	3 5.2	3 4.9	58 95.1
聾学校	81	56 70.9	20 25.3	9 11.4	3 3.8	2 2.5	79 97.5
知的障害養護学校	381	201 53.2	89 23.5	70 18.5	33 8.7	3 0.8	378 99.2
肢体不自由養護学校	150	108 73	22 14.9	19 12.8	10 6.8	2 1.3	148 98.7
病弱養護学校	80	64 80	8 10	8 10	5 6.3	0	80 100

表5-2 個別の指導計画の作成範囲

	件数	全ての指導領域に 作成している指導計画	自立活動と重複障害 者の指導計画を作成	現在作成していない が、来年度に検討中	その他	無答	有効回答数
合計	753	393 52.5	255 34	32 4.3	69 9.2	4 0.5	749 99.5
盲学校	61	19 31.1	36 59	0	6 9.8	0	61 100
聾学校	81	16 20	53 66.3	8 10	3 3.8	1 1.2	80 98.8
知的障害養護学校	381	248 65.4	69 18.2	14 3.7	48 12.7	2 0.5	379 99.5
肢体不自由養護学校	150	84 56	54 36	3 2	9 6	0	150 100
病弱養護学校	80	26 32.9	43 54.4	7 8.9	3 3.8	1 1.3	79 98.8

表5-3 個別の指導計画の様式

	件数	学年ごとに統一	学部ごとに統一	学校全体で統一	各教師が様式を 作っている	その他	無答	有効回答数
合計	753	5 0.7	277 37.3	407 54.9	25 3.4	28 3.8	11 1.5	742 98.5
盲学校	61	0	33 55	24 40	2 3.3	1 1.7	1 1.6	60 98.4
聾学校	81	2 2.5	43 53.8	26 32.5	5 6.3	4 5	1 1.2	80 98.8
知的障害養護学校	381	3 0.8	133 35.6	210 56.1	12 3.2	16 4.3	7 1.8	374 98.2
肢体不自由養護学校	150	0	40 26.7	104 69.3	3 2	3 2	0	150 100
病弱養護学校	80	0	28 35.9	43 55.1	3 3.8	4 5.1	2 2.5	78 97.5

表5-4 個別の指導計画作成の中心人物

	件数	自立活動と専門 教員が	学級担任がほとんど	学級担任と自立 活動協働	無答	有効回答数
合計	753	24 3.3	368 51	329 45.6	32 4.2	721 95.8
盲学校	61	3 5.2	11 19	44 75.9	3 4.9	58 95.1
聾学校	81	5 6.5	27 35.1	45 58.4	4 4.9	77 95.1
知的障害養護学校	381	9 2.5	254 69.8	101 27.7	17 4.5	364 95.5
肢体不自由養護学校	150	6 4.2	46 31.9	92 63.9	6 4	144 96
病弱養護学校	80	1 1.3	30 38.5	47 60.3	2 2.5	78 97.5

表5-5. 個別の指導計画作成における専門家からの意見の取り入れ

	件数	保護者	医師・看護婦	専門的な知識や技術を有する教師	前担任教師	P T	O T	言語聴覚士	視能訓練士	心理学の専門家	栄養士	研究者	その他	無答	有効回答数
合計	753	655 88.8	396 53.7	371 50.3	590 79.9	236 32	172 23.3	100 13.6	16 2.2	41 5.6	38 5.1	30 4.1	99 13.4	15 2	738 98
盲学校	61	55 91.7	14 23.3	40 66.7	48 80	8 13.3	4 6.7	1 1.7	6 10	0 -	1 1.7	2 3.3	12 20	1 1.6	60 98.4
聾学校	81	58 73.4	19 24.1	57 72.2	68 86.1	1 1.3	0 -	5 6.3	0 -	1 1.3	0 -	4 5.1	9 11.4	2 2.5	79 97.5
知的障害養護学校	381	348 93.5	187 50.3	162 43.5	296 79.6	96 25.8	66 17.7	36 9.7	6 1.6	17 4.6	19 5.1	13 3.5	54 14.5	9 2.4	372 97.6
肢体不自由養護学校	150	139 92.7	112 74.7	88 58.7	126 84	110 73.3	91 60.7	55 36.7	4 2.7	11 7.3	13 8.7	9 6	16 10.7	0 -	150 100
病弱養護学校	80	55 71.4	64 83.1	24 31.2	52 67.5	21 27.3	11 14.3	3 3.9	0 -	12 15.6	5 6.5	2 2.6	8 10.4	3 3.8	77 96.3

表5-6. 個別の指導計画の保護者への説明・開示

	件数	了面個別承で別の渡指導つ、計て説明をるし書	しせ個別てても、のら説明導てし計画承を見	せ個別の指導計画を見	ば保護者の希望があれば	見せていない	その他	無答	有効回答数
合計	753	59 8	114 15.5	82 11.1	161 21.9	212 28.8	108 14.7	17 2.3	736 97.7
盲学校	61	7 11.5	8 13.1	9 14.8	16 26.2	14 23	7 11.5	0 -	61 100
聾学校	81	1 1.3	6 7.8	9 11.7	12 15.6	33 42.9	16 20.8	4 4.9	77 95.1
知的障害養護学校	381	42 11.3	66 17.7	40 10.8	75 20.2	91 24.5	58 15.6	9 2.4	372 97.6
肢体不自由養護学校	150	9 6	28 18.7	17 11.3	35 23.3	43 28.7	18 12	0 -	150 100
病弱養護学校	80	0 -	6 7.9	7 9.2	23 30.3	31 40.8	9 11.8	4 5	76 95

表5-7. 個別の指導計画の利用機会

	件数	部学の級会・で学	で業日づ々のり授	議員寄と宿の舎会職	の関設病会係等院議者とやとの施	場の保で懇護談者のと	その他	無答	数有効回答
合計	753	547 74.2	593 80.5	79 10.7	126 17.1	495 67.2	54 7.3	16 2.1	737 97.9
盲学校	61	43 70.5	48 78.7	16 26.2	1 1.6	41 67.2	4 6.6	0 -	61 100
聾学校	81	51 66.2	58 75.3	6 7.8	2 2.6	53 68.8	8 10.4	4 4.9	77 95.1
知的障害養護学校	381	279 75.2	306 82.5	37 10	47 12.7	265 71.4	26 7	10 2.6	371 97.4
肢体不自由養護学校	150	118 78.7	123 82	17 11.3	37 24.7	101 67.3	15 10	0 -	150 100
病弱養護学校	80	56 71.8	58 74.4	3 3.8	39 50	35 44.9	1 1.3	2 2.5	78 97.5